

『スラヴ学論集』(旧『西スラヴ学論集』)に掲載された 三谷恵子先生の文章

作成：貞包和寛 (2022/03/01)

・論文等

1. 「上ソルブ語の‘態’——受動と使役についての事例研究——」『西スラヴ学論集』第3号、2000年、8–32頁
2. 「下ソルブ語の状況——WITAJ 計画までのみちのり——」『西スラヴ学論集』第4号、2001年、68–86頁
3. 「上ソルブ語の語彙目録の変化と標準語形成の過程」『西スラヴ学論集』第7号、2004年、4–20頁
4. 「下ラウジッツのソルブ語——WITAJ 発足10年によせて——」『西スラヴ学論集』第12号、2009年、33–58頁
5. 「日本スラヴ学研究会発足記念シンポジウム第1部「スラヴ学の礎を築いた人々」」『スラヴ学論集』第16号、2013年、84–85頁
6. 「環バルト海地域の言語接触と言語変化」『スラヴ学論集』第21号、2018年、55–80頁
7. 「巻頭あいさつ」『スラヴ学論集』第23号、2020年、3頁
8. 「イヴォ・アンドリッチ著、栗原成郎訳『宰相の象の物語』(松籟社、2018年、252頁)、Michael Martens. Im Brand der Welten. Ivo Andrić. Ein europäisches Leben (Wien: Zsolnay, 2019, 494S)」『スラヴ学論集』第23号、2020年、125–129頁
9. 「まえがき」『スラヴ学論集』第24号、2021年、3頁
10. 「中世スラヴ世界における「疾病」の表現と表象」『スラヴ学論集』第24号、2021年、105–126頁

・三谷先生のご著書に対する書評

1. 森田耕司「三谷恵子著『スラヴ諸語入門』(三省堂、2011年、208頁)」『スラヴ学論集』第16号、2013年、142–146頁
2. 服部文昭「三谷恵子『比較で読みとくスラヴ語のしくみ』(白水社、2016年、244ページ)」『スラヴ学論集』第20号、2017年、218–223頁